

DEW
stream 2023

Planning, Design, and Consulting
SHIMIZU CORPORATION

vol.82

デザインと機能の融合による 都心角地オフィスの新たなインターフェイス



祖父江 司 入社8年目担当 意匠設計

NAGOYA BUILDING SAKURAKAN
名古屋ビルディング桜館

都心角地オフィスの新たな インターフェイスを目指して

名古屋駅近くのメインストリート沿い
角地に立地するテナントオフィスビルで
す。リニアの開業に向け、駅周辺エリアの
開発が進む名古屋駅前において、オフイ
ス需要の高まりを見据えた既存オフイ
スビルの建替の計画です。

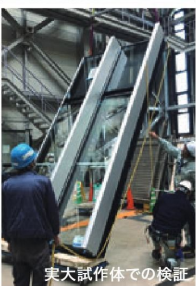
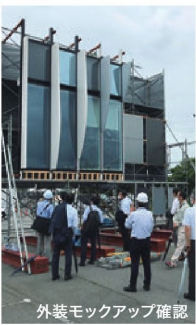
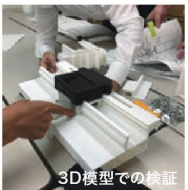
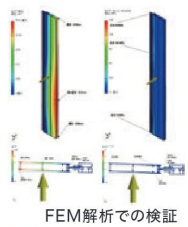
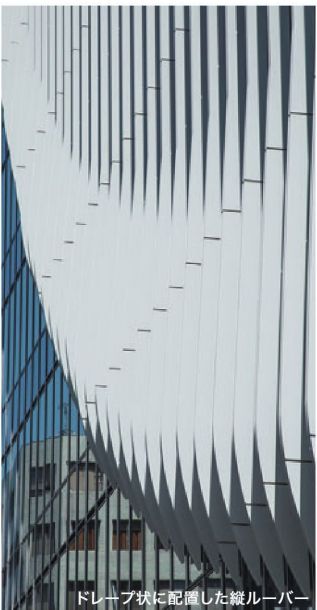
都心角地オフィスのプロトタイプとな
ることを目指して、テナントオフィスで
求められる効率性を実現しながらも都
市とつながる、新たなインターフェイス
の計画に取組みました。

デザインと機能の 融合による外装計画

外装には、執務空間の環境改善を図
るべく西日対策の縦ルーバーをドレー
プ状に配置しています。外装で次世代
の幕開けを想起させるという施主の想
いを実現するため、試行錯誤を繰返し
ました。

外装モックアップでは、デザイン上重
要になるルーバー下端の形状・配置を
確認しました。ガラス・ルーバー・バック
ボード・ブラインド等の色味は複数案
作成し、イメージを実現するための検討
を進めていきました。

ルーバーの幅が3000~6000mmと





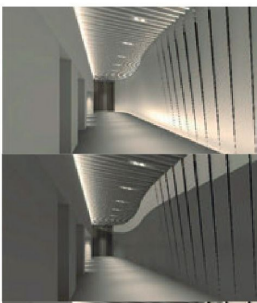
石と金属による象徴的なELVホール



スクラッチ仕上げの花崗岩詳細



石の大判サンプル・敷並べ確認



エントランスホール
ライティングシミュレーション



今回使用した愛知県新城市の山林



外装のドレープと呼応して緩やかな曲線を描く、エントランスホールの杉ルーバー

大きく、大きな風荷重がかかるため、風荷重に耐え得る部材強度・メンバーをFEM解析により検証しました。止水上の注意点となるACWの交点部やコーナー部については、3D模型を作成し納まりの検討や施工手順の確認を実施しました。最終的には実寸の試作体を工場で作成し、計画通りに実現可能なかの確認を行い、改善が必要な項目については再度検討を重ねながら何とか施工にこぎつけました。デザインと機能が融合した外装を実現するために、各分野のエキスパートの方々と連携して進めていくことの重要性を感じながら取り組む日々でした。

木の温もりを感じる

エントランスホール

エントランスホールは、外装のドレープルーバーと呼応して緩やかな曲線を描くルーバーを壁・天井に展開し、テナントオフィスビルという用途でありながらもオフィスワーカーや来訪者が日々木の温もりを感じ、リフレッシュできる空間を計画しました。

無垢のルーバーの木の温もりを損なわないよう、照明は暖色とし、照らし方も照明の配置・角度等を複数シミュレーション検証しながら進めていきました。

今回使用した木材は愛知県新城市の山林から樹齢100〜120年の杉材を調達し、地産地消を推進しています。

愛知県の補助金事業である2021年度木の香る都市づくり事業にも採択され、愛知県産木材による空間をPRする場にもなっています。

木仕上げを際立たせるよう、その他の素材はダークトーンに抑えながらも、石のスクラッチ仕上げやSUSビースプラスト仕上げ・リン酸処理パネル等、表情のある仕上材を一つ一つ現物で検証しながら選定していきました。また都心の限られた敷地の中でも、シンボルツリーの桜や壁面緑化を積極的に計画し街並みに潤いを与えています。

次世代に繋がる建物を目指して

次世代の幕開けをイメージさせる外観と共に、各所にちりばめた素材・植栽が個性を際立たせ、次世代に繋がる建物となっていくことを願っています。(祖父江)